

輸出事業計画

※申請者名：株式会社みすずコーポレーション

品目：味付け油揚げ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・味付け油揚げをアジア、北米向けを中心に輸出している。
- ・大豆加工食品をはじめとする植物性食品が一般的に受け入れられ始めており、特にアジア圏では需要（売上）が伸長し続けている。
- ・既存取引だけにとどまらず、新規販売先の開拓を継続実施している。

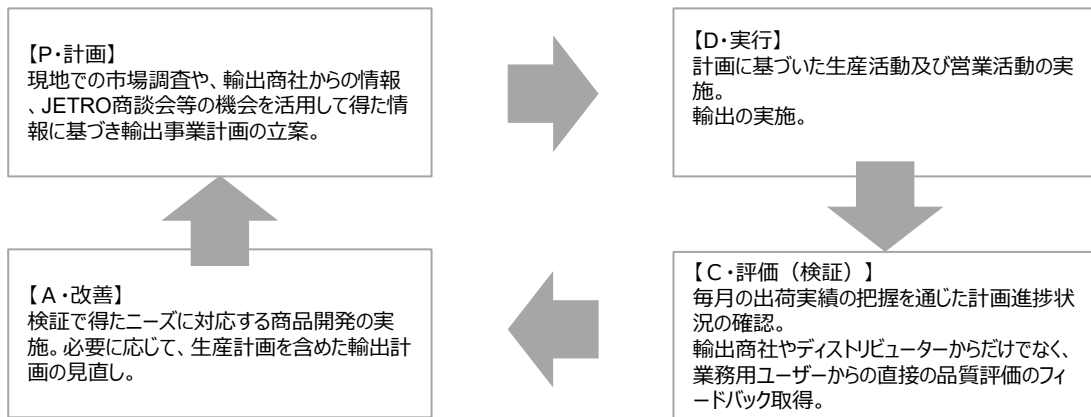
【課題】

- ・特に業務用形態での需要が多く、まとまった数量の取引が求められるため、新しい引合いに対して既存設備での増産では対応しきれない。
- ・日本食文化の浸透は進んでいるものの、「いなり寿司」の認知はまだ高くない。
- ・植物性食品の需要が特に見込める E U 圏への輸出が拡大できていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出需要に応えるべく、2021年に稼働開始した新工場にて、増産設備を導入予定。
- ・増産設備においては、選別工程の自動化にも取組み、競争力強化を実現していく。
- ・既存工場で取得済みであるFSSC22000及びHALAL認証を、新規生産ラインにおいても取得していく。
- ・営業活動では、既存取引の拡大だけでなく、新規取引先（特にEU圏、東南アジア、オセアニア）への提案活動を継続する。
- ・輸出量の増加に応じて、物流体制を強化していくとともに貿易実務に対応できる人材を育成・確保していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 (令和4年3月期)	目標年 (令和11年3月期)
輸出額(千円)	953,304	1,445,349
主な輸出先国	北米・韓国・東南アジア	北米・韓国・EU 東南アジア・オセアニア